

エコアクション21

# 環境経営レポート

2023年4月～2024年3月



環境にやさしいお店作りをめざして



## 福岡トヨペット株式会社

エコアクション21事務局

作成日2024年8月1日

## 〈 目次 〉

1. 環境経営方針	.....	P. 3
2. 組織の概要	.....	P. 4
3. 事業所一覧	.....	P. 5
4. 環境管理実施体制（組織図）	.....	P. 6
5. 環境経営システム 役割・責任・権限表	.....	P. 7
6. 基準年実績と中期目標（2023年～2025年）	.....	P. 8
7. 単年度目標と達成状況	.....	P. 9
8. 単年度実績推移表（過去5年）	.....	P. 10
9. 環境経営取組計画・結果及び次年度の取組計画	..	P. 11
10. 地域や環境への取組み事例	.....	P. 12
11. 環境関連法規一覧・遵守状況	.....	P. 13
12. 代表者による全体評価と見直し	.....	P. 14

# 1. 環境経営方針

福岡トヨペット株式会社

## 環 境 経 営 方 針

### <基本理念>

当社は、いつも「お客様の視点」で考え、くるまと関連商品の販売・サービスを通じて豊かで快適なくるま社会の実現と『お客様のお役に立つ』ことを旨として行動します。

同時に『より良き企業市民』として健全な企業活動に心がけ、地球環境や地域環境の保全・改善活動に積極的に取り組むとともに、環境経営の継続的改善を実施いたします。

### <基本方針>

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、全社員で継続的な環境改善行動を励行します。
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、環境保全レベルの向上をはかります。
3. 環境保全は発生源対策が不可欠であり、事業活動のすべての分野で重点的取組事項として、省エネルギー・節水・省資源・確実なリサイクルの推進と廃棄物の削減、化学物質の適正な管理、汚染の予防に努めます。
4. 全社員に環境経営方針の理解と、環境保全の向上、環境管理の励行をはかります。
5. 環境監査を実施して、環境管理の維持向上をはかります。
6. 環境に配慮した商品の購入の拡大を推進します。
7. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車、低公害車の普及をはかります。
8. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。

制定日 2014年11月20日

改訂日 2022年 8月 1日

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長

村井 隆介

## 2. 組織の概要

1. 事業者名	福岡トヨペット株式会社 代表取締役社長 村井 隆介		
2. 所在地	本社 〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光1丁目6-13 TEL : 092-411-1121 FAX : 092-474-2115		
3. 環境管理責任者	・責任者	取締役 兼 専務執行役員	管理本部長 鈴木 剛
	・副責任者	取締役 兼 常務執行役員	管理副本部長 鎌 健児
	・担当者	経営管理部 総務G グループリーダー 池内 勝康	
	・連絡先	TEL 092-411-1120 FAX 092-474-2115	
4. 認証・登録範囲	・事業活動	全活動 新車の販売及びU-Carの販売、自動車の車検・点検整備及び修理、 自動車部品・用品の販売、自動車のリース、 損害・生命保険代理店業務、携帯電話の販売	
	・対象事業所	全組織	
5. 2023年度事業規模 (レクサス含)	・売上高	7,536,900 万円	
	・新車販売台数	16,142 台	
	・整備在庫台数	234,090 台	
	・従業員数 (2024年3月末現在)	1,189 人	
6. 対象範囲	・新車販売店舗	33 拠点	
	・U-Car販売店舗	7 拠点	
	・U-Car商品化センター	1 拠点	
	・板金、サービス工場	4 拠点	
	計	45 拠点	

※ 2023年度は、2023年4月1日から2024年3月31日

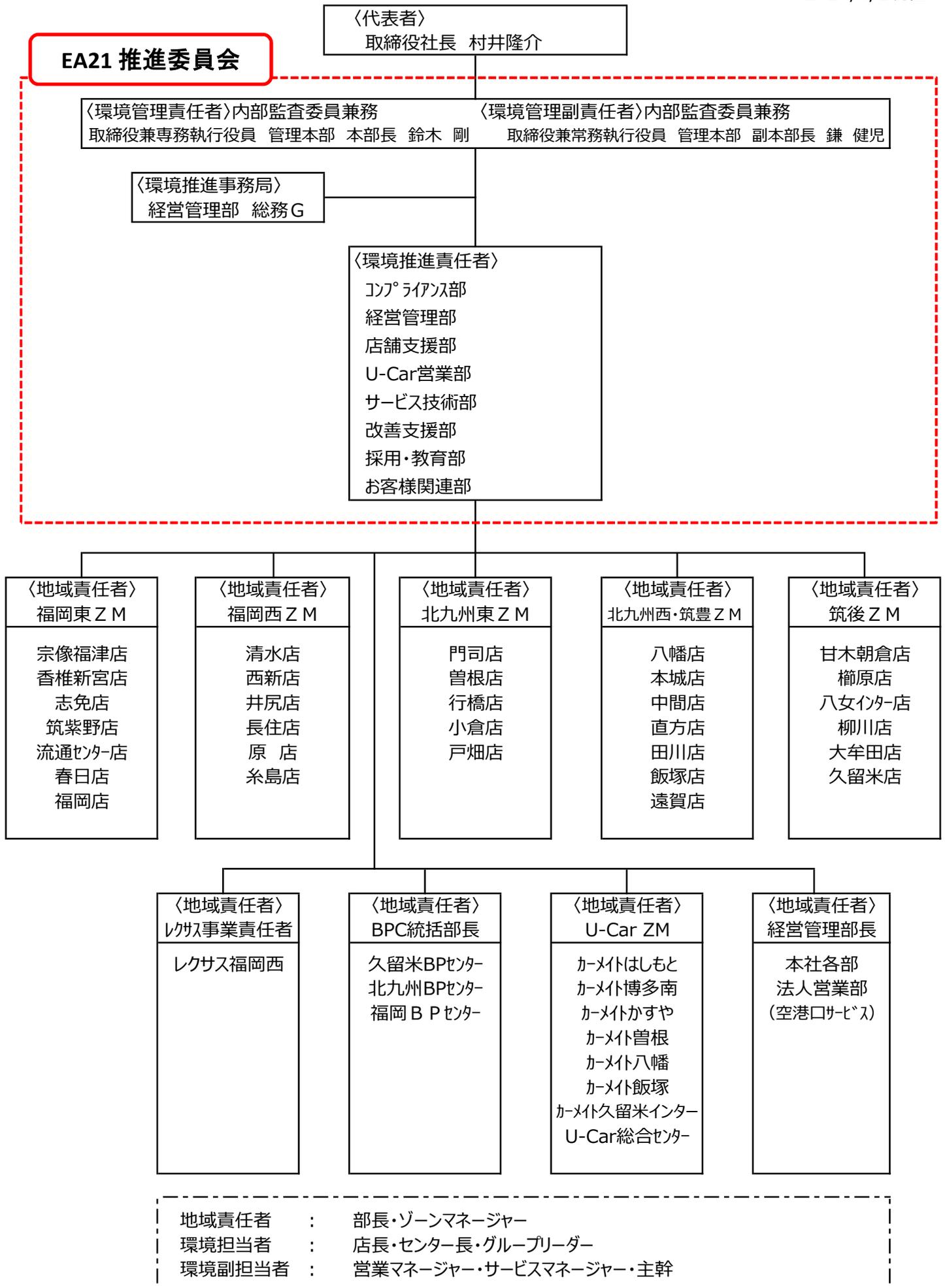
### 3. 事業所一覧

2024/8/1現在

	事業所名 (店舗)	郵便番号	所在地 住所	電話番号	FAX番号
1	本社	812-0008	福岡市博多区東光1丁目6-13	092-411-1121	092-474-2115
2	宗像福津店	811-3217	福津市中央1丁目17-24	0940-42-0916	0940-43-1256
3	香椎新宮店	813-0002	福岡市東区下原4丁目19-39	092-661-8100	092-661-8223
4	志免店	811-2207	糟屋郡志免町南里4丁目16番1-2号	092-692-4190	092-937-7101
5	筑紫野店	818-0066	筑紫野市大字永岡1033-1	092-925-0567	092-921-0433
6	流通センター店	812-0063	福岡市東区原田4丁目1-1	092-621-6811	092-611-5260
7	春日店	816-0812	春日市平田台1丁目139	092-595-1070	092-595-1578
8	福岡店	812-0008	福岡市博多区東光1丁目6-13	092-411-0567	092-474-1584
9	清水店	815-0031	福岡市南区清水3丁目25-11	092-541-2831	092-512-2905
10	西新店	810-0064	福岡市中央区地行2丁目2-10	092-761-8700	092-761-8711
11	井尻店	816-0864	春日市須玖北1丁目48-1	092-588-5025	092-953-5790
12	長住店	811-1361	福岡市南区西長住3丁目22-7	092-552-0567	092-588-5026
13	原店	814-0022	福岡市早良区原3丁目17-25	092-843-3111	092-843-1565
14	糸島店	819-1102	糸島市高田1丁目2-7	092-322-4035	092-323-5847
15	門司店	800-0057	北九州市門司区大里新町4-11	093-381-6263	093-391-5837
16	曾根店	800-0206	北九州市小倉南区葛原東4丁目1-21	093-471-5630	093-473-5421
17	行橋店	824-0033	行橋市北泉4丁目2-6	0930-23-3368	0930-24-7574
18	小倉店	802-0065	北九州市小倉北区三萩野1丁目1-43	093-921-5631	093-921-0841
19	戸畑店	804-0013	北九州市戸畑区境川2丁目5-19	093-861-1361	093-882-4711
20	八幡店	806-0045	北九州市八幡西区竹末2丁目16-8	093-631-0031	093-631-0037
21	本城店	807-0803	北九州市八幡西区千代ヶ崎3丁目14-22	093-691-0555	093-691-0300
22	中間店	809-0014	中間市蓮花寺2-2-1	093-244-8567	093-245-7749
23	直方店	822-0022	直方市知古3丁目1	0949-24-5670	0949-22-1082
24	田川店	826-0042	田川市大字川宮1760-6	0947-44-1607	0947-44-0779
25	飯塚店	820-0112	飯塚市有井353	0948-82-1567	0948-82-2073
26	遠賀店	811-4303	遠賀郡遠賀町大字今古賀470-1	093-293-3831	093-293-6848
27	甘木朝倉店	838-0069	朝倉市来春129-1	0946-22-3145	0946-22-0172
28	櫛原店	830-0003	久留米市東櫛原町1025	0942-39-2736	0942-38-5981
29	八女インター店	833-0005	筑後市大字前津2496	0942-52-8678	0942-52-9035
30	柳川店	832-0807	柳川市三橋町大字枝光355	0944-72-6231	0944-73-2798
31	大牟田店	837-0905	大牟田市大字甘木536	0944-58-1166	0944-58-6305
32	久留米店	830-0052	久留米市上津町向野2228	0942-22-1515	0942-22-2230
33	レクス福岡西	819-0022	福岡市西区福重1丁目2-22	092-883-7721	092-883-7727
34	カーメイトはしもと	819-0031	福岡市西区橋本1丁目13-6	092-894-8639	092-894-8638
35	カーメイト博多南	812-0881	福岡市博多区井相田1丁目13-42	092-581-3131	092-592-5976
36	カーメイトかすや	811-2302	糟屋郡粕屋町大字大隈字大間185-1	092-938-1422	092-938-3811
37	カーメイト曾根	800-0206	北九州市小倉南区葛原東4丁目1-17	093-472-1234	093-472-1110
38	カーメイト八幡	807-0821	北九州市八幡西区陣原2丁目12-6	093-621-5352	093-642-4298
39	カーメイト飯塚	820-0112	飯塚市有井353	0948-82-2594	0948-82-2530
40	カーメイト久留米インター	839-0809	久留米市東合川1丁目9-11	0942-44-6144	0942-44-6147
41	U-Car総合センター	811-2302	糟屋郡粕屋町大字大隈字大間185	092-938-1411	092-938-7834
42	法人営業部(空港サービスセンター)	812-0042	福岡市博多区豊2丁目5-31	092-441-1154	092-413-2920
43	福岡BPセンター	811-2302	糟屋郡粕屋町大字大隈字大間185	092-938-2003	092-938-2004
44	北九州BPセンター	807-0811	北九州市八幡西区洞北町2番16号	093-691-0055	093-691-0037
45	久留米BPセンター	830-0052	久留米市上津町向野2228	0942-22-2211	0942-22-7154

## 4. 環境管理実施体制（組織図）

2024/8/1現在



## 5. 環境経営システム 役割・責任・権限表

2024/4/1

担当	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境管理責任者 環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> <li>・内部監査委員兼務</li> </ul>
環境推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> </ul>
環境推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> <li>・内部監査実施</li> </ul>
地域責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する地域統括・管理 （環境推進責任者の補佐及び、環境担当者へのサポート）</li> </ul>
環境担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加</li> </ul>

## 6. 基準年実績と中期目標（2023年～2025年）

・当社は、事業活動により生じる環境負荷の内、影響が大きいと考えられる項目について下記事項を重点的に取組みます

【全社】

2024/4/1

項目 (単位)	2022年度 実績 (=基準年)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	4,517,662	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
		4,495,074	4,472,486	4,449,897	
電気使用量 (kWh)	5,513,045	0.0%	20.0%	20.0%	
		5,513,045	6,615,654	6,615,654	
都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	59	-1.0%	-2.0%	-3.0%	
		58	57	57	
LPGガス使用量 (kg)	1,156	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
		1,150	1,145	1,139	
灯油使用量 (ℓ)	74,009	0.0%	0.0%	0.0%	
		74,009	74,009	74,009	
ガソリン使用量 (ℓ)	770,833	-0.2%	-0.4%	-0.6%	
		769,291	767,749	766,208	
軽油使用量 (ℓ)	147,255	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
		146,519	145,782	145,046	
一般廃棄物 (kg)	総排出量	219,366	-1.0%	-2.0%	-3.0%
			217,172	214,979	212,785
	焼却量	141,295	-1.0%	-2.0%	-3.0%
			139,882	138,469	137,056
産業廃棄物 (kg)	総排出量	1,000,174	-0.5%	-1.0%	-1.5%
			995,173	990,172	985,171
	中間処分量	797,784	-0.5%	-1.0%	-1.5%
			793,795	789,806	785,817
上水道使用量 (m <sup>3</sup> )	40,487	-0.5%	-1.0%	-1.5%	
		40,284	40,082	39,879	
ハイブリッド車の普及 (除軽) (販売車両の、HV車増減比率UP)	45%	HV車増減比率 1%UP	HV車増減比率 2%UP	HV車増減比率 3%UP	
		46%	47%	48%	
化学物質使用量 (ℓ) (トルエン・キシレン・LLC)	17,849	適正管理	←	←	
グリーン購入の推進	事務用品全て、カウネットの Iマーク商品購入(注1)	継続	←	←	
社会貢献	・車椅子寄贈 ・環境教室 ・グリーンキャンペーン ・トヨタソーシャルレス	継続	←	←	

※ 2023年～2025年の目標値基準となる2022年度実績値（基準年）について、電気使用量の二酸化炭素調整後排出係数は、九州電力の2021年公表値「0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用

※ 2022年度は2022年4月から2023年3月

※ HV比率 = 新車HV販売台数/新車販売台数（除くU-Car）

※ 中間処分量は、再資源化している「廃油」「鉄くず」を除く産業廃棄物量

注1 カウネットとは、トヨタが推奨するエコ商品

## 7. 単年度目標・達成状況

【全社】

2024/4/1

項目 (単位)	2022年度 実績 (=基準年)	2023年度			
		目標	実績	目標に対する 削減率	達成 状況
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	4,517,662	-0.5%	4,577,230	1.8%	×
		4,495,074			
電気使用量 (kWh)	5,513,045	0.0%	5,631,866	2.2%	×
		5,513,045			
都市ガス使用量 (m <sup>3</sup> )	59	-1.0%	54	-6.8%	○
		58			
LPGガス使用量 (kg)	1,156	-0.5%	641	-44.3%	○
		1,150			
灯油使用量 (ℓ)	74,009	0.0%	69,353	-6.3%	○
		74,009			
ガソリン使用量 (ℓ)	770,833	-0.2%	797,310	3.6%	×
		769,291			
軽油使用量 (ℓ)	147,255	-0.5%	133,741	-8.7%	○
		146,519			
一般廃棄物 (kg)	総排出量	219,366	226,603	4.3%	×
	焼却量	141,295			
産業廃棄物 (kg)	総排出量	1,000,174	1,012,805	1.8%	×
	中間処分量	797,784			
上水道使用量 (m <sup>3</sup> )	40,487	-0.5%	37,579	-6.7%	○
		40,284			
ハイブリッド車の普及 (販売車両の、HEV車増減比率 UP)	45%	HEV車増減比率 1.0%UP 46%	58.5%	(HEV車増減比率) +12.5%	○
化学物質使用量 (ℓ) (LLC)	11,337	適正管理	適正管理 (使用量10,295)	-	-
グリーン購入の推進	事務用品全て、カネットの Iマーク商品購入(注1)	継続	事務用品全て、カネットの Iマーク商品購入 (注1)	-	-
社会貢献	・車椅子寄贈 ・環境教室 ・グリーンキャンペーン ・トヨタ・シャルフェイス	継続	・車椅子寄贈 ・環境教室 ・グリーンキャンペーン ・トヨタ・シャルフェイス	-	○

※ 2025年度までに、2022年度より「1.5%削減を目標」とし取組む

※ 電気使用量の二酸化炭素調整後排出係数は「0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用（九州電力 2021年度）

※ <削減率実績の計算式>

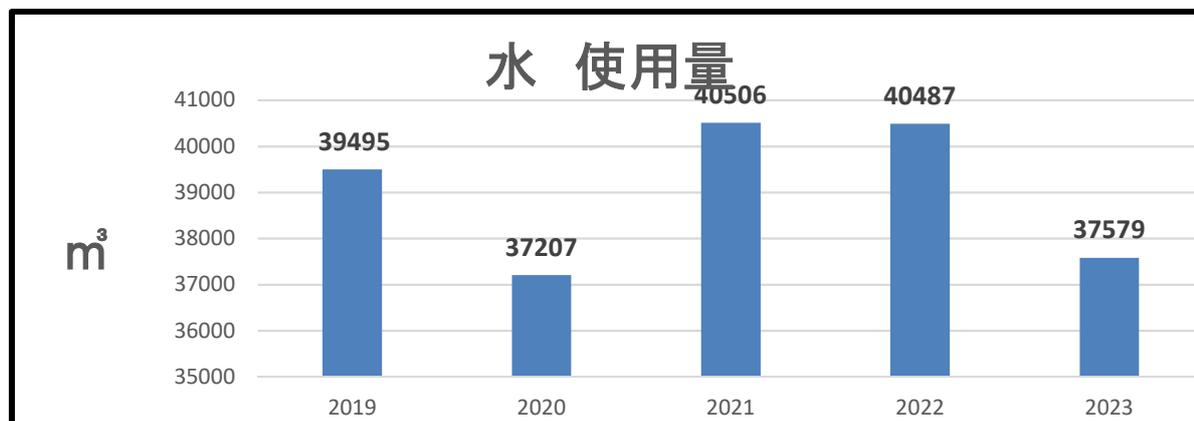
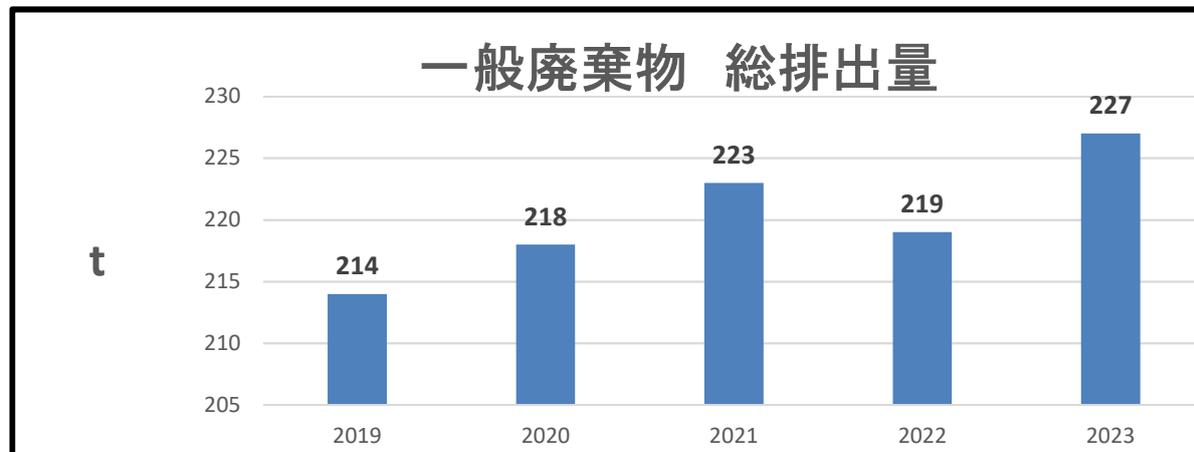
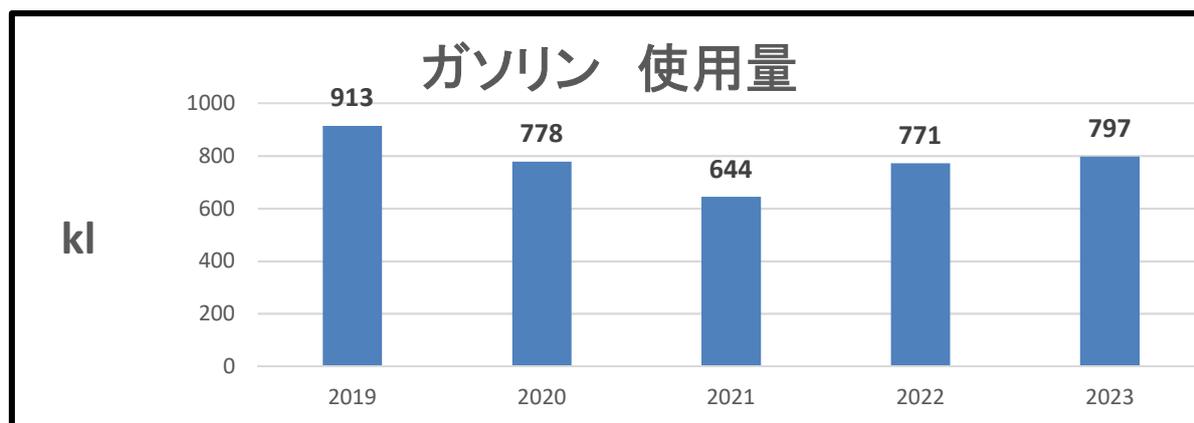
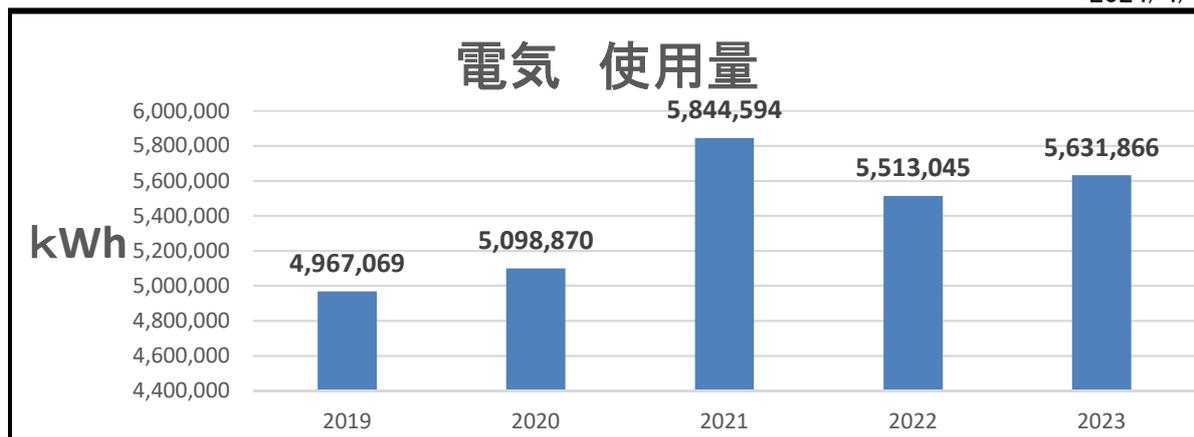
・数値目標：削減率実績 = (実績 - 基準年実績) / 基準年実績 で計算

・HV比率：実績 - 基準年実績 で計算

注1 カウネットとは、トヨタが推奨するエコ商品

## 8. 単年度実績推移表（過去5年）

2024/4/1



## 9. 環境経営取組計画・結果及び次年度の取組計画

【全社】

2024/4/1

項目 (単位)	2023年度		2024年度		
	取組計画	結果	取組計画	実施責任者	スケジュール
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	・二酸化炭素排出項目の全体を減らすことにより削減	・削減目標は、基準年から0.5%削減 結果は1.8%の増加	・二酸化炭素排出項目の全体を減らすことにより削減	所属長	通年
電気使用量 (kWh)	・空調・照明の時間管理徹底 ・節電型空調機の導入 ・空調機の定期メンテナンス契約 フィルターの清掃 (2回/年) ・IAQプロレサの適正管理	・左記計画はすべて実施、職場環境改善の一環でサービス工場に冷房設置 (4拠点) 猛暑時の使用量がかさんだことで 目標比2.2%増	・左記の取組計画は継続実施 ・ほぼ全工場に空調機器を導入するため 空調の電気使用量が增大するが稼働時間と室温の管理を徹底	所属長	通年
都市ガス使用量 (m)	・ガス使用の徹底管理	目標比6.8%減 ※2019年度をもってガス空調店舗廃止	・ガス使用の適正管理	所属長	通年
LPGガス使用量 (kg)	・ガス使用の徹底管理	ガス使用の徹底管理により、目標比44.3%減 ※2019年度をもってガス空調店舗廃止	・ガス使用の適正管理	所属長	通年
灯油使用量 (ℓ)	・ボイラーの適正管理 ・機器定期メンテナンス	・B P 工場の水性塗料移行で乾燥時間の短縮のためボイラー使用、適正な使用方法を徹底 目標比6.3%減	・ボイラーの適正管理 ・機器定期メンテナンス	・各B P センター長 ・U-Car総合 センター長	通年
ガソリン使用量 (ℓ)	・社用車の適正管理 ・エコドライブの推進	・新型コロナの5類移行に伴い、活動量の増加もあり、目標比3.6%増	・社用車の適正管理 ・エコドライブの推進	所属長	通年
軽油使用量 (ℓ)	・社用車の適正管理 ・エコドライブの推進	・積載車の適切な稼働管理を行い、目標比8.7%削減	・社用車の適正管理 ・エコドライブの推進	配回送C センター長	通年
一般廃棄物 (kg)	・ごみの分別徹底 ・段ボール等リサイクルの促進 ・ペーパーレスの推進	・新型コロナが2類から5類に移行し、コロナ禍以前の活動状況に近づいたため、総排出量は目標比4.3%増。 分別をしっかりと実施 一般ごみの排出量は微増。 段ボールの排出量も微増	・左記の取組計画は継続実施 ・コロナ対策備品やペーパータオル購入は継続するため、総排出量、焼却量は増加予測 ・ペーパータオル使用を社員は禁止にし、廃棄量削減を図る	所属長	通年
産業廃棄物 (kg)	・分別管理の徹底 ・リサイクルの促進	・総排出量は目標比1.8%増。 内訳では汚泥排出量が13.6 t 増。 廃プラスチックの排出量が約0.9 t 微増。 新車長納期の影響が少なくなり、在庫量も安定し、 廃油は微減、廃金属排出は7%増で推移。	・分別管理の徹底 ・リサイクルの促進	所属長	通年
上水道使用量 (m <sup>3</sup> )	・節水型洗車機の随時入替(7台) ・こまめな節水の徹底	・節水効果が表れ、目標比6.7%減 ・節水型洗車機5基入替	・節水型洗車機の随時入替(4台) ・こまめな節水の徹底	所属長	通年
ハイブリッド車の普及	・HEV車両の商品知識の向上とHEVの良さをアピール	・ハイブリッド比率 58.5%	・HEV車両の商品知識の向上とHEVの良さをアピール	所属長	通年
化学物質使用量 (トルエン・キシレン・LLC)	・適正管理 (保管、使用量)	・適正管理 (保管、使用量)	・適正管理 (保管、使用量)	・各B P センター長 ・所属長	通年
グリーン購入の推進	事務用品全て、カネットのIマーク商品購入を継続 (注1)	事務用品全て、カネットのIマーク商品購入 (注1)	事務用品全て、カネットのIマーク商品購入を継続 (注1)	所属長	通年
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教室開催</li> <li>・施設に車椅子寄贈</li> <li>・ボランティア活動</li> </ul> 継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教室19校開催</li> <li>・各施設に車椅子30台寄贈</li> <li>・グリーンキャンペーン開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教室開催</li> <li>・施設に車椅子寄贈</li> <li>・ボランティア活動</li> </ul> 継続	総務 G	適宜

注1 カウネットとは、トヨタが推奨するエコ商品です。

## 10. 地域や環境への取組み事例

車いす寄贈 (30施設 30台)



グリーンキャンペーン植樹 (福岡県)



トヨピーキッズ保育園 ハロウィン



環境教室 (県内14校, 県外5校)



# 11. 環境関連法規一覧・遵守状況

2024/4/1

法令等の名称	適用される要求事項	遵守評価	
		当社の状況	判定
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の簡易及び定期点検実施	・業者による簡易点検実施 (1月・4月・7月・10月) ・業者による定期点検実施 (3年に1回7月に実施)	○
水質汚濁防止法	特定施設の設置届出 (門型洗車機) 水質基準の遵守 油水分離層の適正管理	門型洗車機の届出済	○
下水道法	特定施設の設置届出 (門型洗車機) 下水道への放流 除害施設の設置	使用、設備の届出済	○
浄化槽法	設置または変更時の届出 保守点検 (1回/年) 定期検査 50人槽以下 (5年周期で外観検査1年、水質検査4年) 50人槽以上 (毎年外観検査、水質検査)	浄化槽の設置届出済	○
悪臭防止法	規制基準の遵守義務 事故時の措置と報告 自治体による測定	排気フィルター定期的な交換	○
騒音規制法	特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守 特定施設の届出 例：空気圧縮機・送風機7.5kw以上	届出済み	○
振動規制法	特定工場等において発生する振動に係る規制基準を順守 第1種区域 8:00~19:00 60dB以下、19:00~8:00 55dB以下 第2種区域 8:00~19:00 60dB以下、19:00~8:00 55dB以下 特定施設の届出 例：空気圧縮機・送風機7.5kw以上	届出済み	○
廃棄物処理法	一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 産業廃棄物処理業者は知事又は政令市長の許可が必要 保管基準の遵守 (表示、衛生管理等) 表示：60cm角以上、種類、氏名・連絡先 許可業者に委託 (一廃は許可証の確認) 許可業者に委託 (産廃は収集運搬・処分業者との契約) 多量排出事業者の削減計画提出・報告 マニフェスト発行・返送遅延時の届出 (A、B2、D、E票の適正保管) 5年間保管 マニフェスト交付状況の報告 (毎年6月30日まで)	・委託業者の現地確認 (年1社以上) ・マニフェストの適正管理 ・契約書適正更新 ・年次報告書提出済	○
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	・引取業者の届出済 ・使用済自動車の引取 ・フロン回収 ・解体業者への引渡し	○
PRTR法	特定化学物質 (質量1トン以上、従業員21名以上)	適正管理	○
省エネ法	第2種 原油換算 1,500Kl以上 (環境省への定期報告分)	原油換算使用量 1,489kl (2022年4月~2023年3月)	○
消防法 危険物の規制に 関する政令	火災報知機の設置 (工場500㎡以上) 屋内消火栓の設置 (工場700㎡以上) 消防用設備等の点検と報告 危険物取扱 (指定数量以上) ガソリン・ベンゼン・トルエン (200L) アルコール類 (400L) 灯油・軽油 (1000L)、重油 (2000L) 潤滑油 (6000L)	・防火管理者 ・少量危険物貯蔵施設の 届出済	○
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者の選任、取扱いの掲示、有機溶剤区分表示 危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置資格取得者	安全衛生管理者設置	○

## 【違反、訴訟等】

当社は、自社の遵守状況評価で問題がないことを確認しました。 なお、環境関連法規への違反もありませんでした。  
関係者当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

## 1 2. 代表者による全体評価と見直し

当社の環境活動は、2015年10月のエコアクション21認証取得後、活動の定着・現地現物での再点検などにより環境目標の実現に向け取組みを進めてまいりました。

昨年5月に新型コロナウイルスが2類から5類に移行し、営業活動がコロナ禍以前の状況に戻ったことで、電気使用量と廃棄物排出量、ガソリン使用量は基準年に対して増加いたしました。

また、当社創立100周年に向け下記「100周年ビジョン2027」を制定し全社員で取組みをスタートさせました。なお、以前から継続して取り組んでいる「広く社会の繁栄と福祉に貢献」に向けた、「車いす寄贈」「苗木の植樹」も関係各所にご協力を頂き無事に実施することができました。



### ○環境経営目標と達成状況

2023年度の結果は、二酸化炭素排出量全体は目標に対して+1.6%の実績となり、削減目標達成には至りませんでした。これは、筑後エリア店舗からの下取車搬送の効率化により、軽油使用量が目標に対し8.7%削減できたものの、近年の夏季猛暑を受け、職場環境改善の一環として新たに4拠点のサービス工場に空調機を設置し、合計で10拠点での運用となった結果、電気使用量が目標を上回ったことが主な要因と考えております。

なお、社員の健康を第一に考え全拠点設置を基準として、建替え予定の2店舗を除く店舗に、2024年6月までにサービス工場の空調機器を設置しました。

\* 代表者へ内部監査結果報告・・・問題なし

### ○代表者の評価・見直し・指示事項

1. 2024年度、職場環境改善のため、全サービス工場に空調機器を設置するよう指示をしました。（除く建替予定2店舗）
2. 上記1による空調機器台数増加に伴い、2024年、2025年度について電気使用量の目標数値の変更を実施しました。

2024年8月1日

福岡トヨペット株式会社